

2回戦

2013年度秋季リーグ戦
第5週 10月10日
2勝5敗

攻守噛み合わず、

駒大3-6拓大 「痛い一敗」

貴重な1点目の三塁打を放った砂川



拓大	1	0	1	0	1	0	2	6
駒大	0	0	0	0	1	2	0	X 3

打安点	
(7)齋藤	3 0 0
(3)西村凌	4 2 0
(6)下川	3 1 0
(8)江越	4 1 2
(5)福山亮	4 1 0
(2)木下	3 0 0
DH柳原	4 1 0
(4)前田	3 0 0
PH篠原仁	1 0 0
(9)砂川	4 2 0
計	33 8 2

回		打安責	
片山	3	14	5 2
箱島	2	10	4 1
●高橋涼	4	18	3 2

第一戦で4打点を喫した4番・高橋を抑えられず序盤から2点を失うが1点を追う6回、主砲の江越大賀(法3)の2点本塁打で同点に追いつく。しかしその流れをつかめないまま勝ち越しを許し。痛い一敗を喫した。

序盤から2点を失った先発・片山雄貴(経2)は3回で降板。第一戦では好投の箱島章矢(地1)も、4番・高橋に適時打を打たれ2回を投げマウンドを降りる。反撃を見せたい打線は5回、9番に打順を落とした砂川哲平(法3)が「久しぶりの感覚で気持ち良かった。ボールをしっかりと捉えられた」と話す三塁打が失策が絡み、そのままホームイン。1点を返す。続く6

回の攻撃、一塁に走者を置き、主砲・江越大賀(法3)。「繋ごうと言う気持ちで打席に挑んだ。狙っていた訳ではない」と、同点に追いつく2点本塁打。チームに良い雰囲気を作るが、後続の打者を打ち取られ、7回には勝ち越しを許す。最終回の9回にもダメ押しの手の高橋涼平(経3)はこの日3失点。最後まで流れを掴めない打線は走者こそ出すが得点には至らず、結果3対6で敗れた。

文||副嶋大悟
写真||五十嵐秋音
平田サリナ

Pick UP!! #25 江越大賀



高々と振り切った左腕がバットから放れると、そのままガッツポーズを作った。3番・下川が内野安打で出塁すると1球を見て2球目、振り切った打球はレフトスタンドへ吸い込まれていき、今季二本目の一発となった。

昨春、4番に座り、チームは優勝争いとなるが自身は好機で打てず、伸び悩んだ。夏には大学日本代表に選ばれ、大学野球界屈指のスラッガー達と代表戦を戦った。代表選考合宿では右の大型打者・山川穂高(4年=富士大)から、「バットが外から出る癖があり、どうしたら少なくなるのかと、右方向に大きいのを打つ仕方を教えてもらった」とアドバイスを受けていた。その結果、国学大一回戦では自身初の右方向へのアーチ。経験は生かされている。

「勝利につながるなら、ヒットでもなんでもいい」—“打撃の駒大”の顔である4番打者、江越。勝利への想いをバットに乗せる。

(五十嵐秋音)